

(様式第4号)

協働推進モデル事業計画書 (本提案用)

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。)

提案団体名	団体名	フリースペースあかね
	合同提案団体	
提案事業の名称	不登校・引きこもりの青少年支援事業	
提案事業の目的	<p>適応指導教室に通所できなくなるなど、公的な支援が大幅に減少してしまう中学校卒業以降を含めた、不登校や引きこもりの青少年に安心できる居場所を提供したり、電話相談や自宅に訪問したりして、相談対応を行うことで、更なる不登校の深刻化、引きこもりへの移行を防止する。</p> <p>また、一般の方に不登校の子の気持ちの理解を促進するための啓発イベントを行う。</p>	
課題の緊急性・重要性 (市民ニーズ含む)	<p>1. 解決する課題</p> <ul style="list-style-type: none">① 中学校卒業以降の不登校や引きこもりの青少年の居場所の充実や、相談する機会の充実が図られる。② 小・中学校の不登校の子どもへの支援の充実が図られる。③ 不登校の子どもがいる保護者が、不登校の子どもの気持ちを知る機会の充実が図られる。 <p>2. 市民ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none">① 中学校卒業以降の不登校や引きこもりの支援が少なく、高校生以上の不登校支援を充実させてほしい。② 「不登校の子が何を考えているのか、どんな気持ちなのか知りたい」というニーズがある。 <p>3. 課題解決の方策</p> <p>小、中学生から若者、大人まで様々な年代の人たちとコミュニケーションをとりながら、元当事者やその親といったスタッフに、悩みを相談することできるので、より安心して自分と向き合うことができる。</p> <p>啓発イベントで、当事者の気持ち、意見を見える化し、一般への理解、今後の不登校支援に寄与することが出来る。</p>	
協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を含む)	<p>1. 協働の必要性と相乗効果</p> <p>適応指導教室などの小、中学生までの支援からあかねに繋げることで、支援の溝を埋めることができ、通常なら不透明になりがちなその後の経過、状況を把握することが出来る。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none">① 中学卒業以降の不登校生徒も安心して通える居場所の管理、運営を行う。② 電話相談、訪問相談を行う。③ 各種啓発イベントの管理と運営。 <p>3. 岡山市の担当セクションと市が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none">① 適応指導教室などを卒業する子や、中学卒業以降の子とその親に向けての紹介と広報② 各種イベントの広報。 <p>4. 期待する事業成果・目標値等</p> <p>自分らしく社会に向かって歩む子どもたちの健全育成と、不登校を理解し、適切な支援と見守りのできる地域・社会づくりへの貢献。</p>	

<p>事業の内容</p>	<p>居場所</p> <p>① 平日の12時～16時半までの間、居場所を解放し、自由な交流を促進する。</p> <p>② 遊び、スポーツ、ゲーム、学習、料理などの活動を行う。</p> <p>訪問相談（アウトリーチ）</p> <p>・既に引きこもってしまっている子、何らかの事情で来られない子や、その親に向けて訪問相談を行い、状況に応じて、居場所への参加へ繋げる。</p> <p>電話相談</p> <p>・不登校でお困りの本人やご家族の電話相談を行う。</p> <p>啓発イベント</p> <p>① 定期的に会報誌を発行し、体験記、イラスト、ポエムなどで不登校の表現の場づくり</p> <p>② 『あかね展覧会』を行い、日頃各々が作っている作品や合作などの展示、公開。</p> <p>③ 『あかねの集い』を行い、不登校の子と親の思いを話すシンポジウムを行う。</p>									
<p>事業の実施体制</p>	<p>1. 総括責任者 徳方宏治</p> <p>2. 個別事業責任者 中山遼、岡本朋子</p> <p>3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ 13年間、岡山市でフリースペースを運営してきた実績と経験・信頼、元当事者や元当事者の親だったスタッフによる深い共感性。</p>									
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1" data-bbox="478 994 1425 1176"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>居場所・電話相談・訪問相談開始</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>あかね展覧会</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>あかねの集い～(仮)当事者が語る！本当の気持ちと居場所のちから～</td> </tr> </tbody> </table>		月	実施事業内容	7月	居場所・電話相談・訪問相談開始	8月	あかね展覧会	11月	あかねの集い～(仮)当事者が語る！本当の気持ちと居場所のちから～
月	実施事業内容									
7月	居場所・電話相談・訪問相談開始									
8月	あかね展覧会									
11月	あかねの集い～(仮)当事者が語る！本当の気持ちと居場所のちから～									
<p>実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割</p>	<p>名称</p>	<p>期待される役割</p>								
<p>事業の展望及び今後の活動展開</p>	<p><input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。</p> <p><input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>具体的な目標（計画）があれば記載してください。</p>									

(様式第5号)

協働事業収支予算書

提案事業名	不登校・引きこもりの青少年支援事業
-------	-------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	6万円	
	合同提案団 体負担金等		
自己資金等合計(a)		6万円	
事業収入見込	居場所	18万円	参加費(2000円(月一人平均)×10人×9ヶ月)
	訪問相談	18万円	利用料1000円×相談者10人×18日(月2回と想定)
事業収入見込合計(b)		36万円	
岡山市補助金申請額(c)		140万円	
収入合計(c)=(a)+(b)+(c)		182万円	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	居場所	54万円	指導員1人分人件費【3000円×180日(年の平日)】
	電話相談	54万円	相談員1人分人件費【3000円×180日(年の平日)】
	訪問相談(アウトリーチ)	54万円	訪問人件費【3000円×相談者10人×18日(月2回と想定)】
	あかねの集い	5万円	会場費・画材代・チラシ代
	あかね展覧会	5万円	会場費・備品代・チラシ代
事業実施経費合計(d)		172万円	
管理運営費	通信費	5万円	電話代・インターネット料金
	事務費	5万円	事務用品・印刷費
管理運営費合計(e)		10万円	
総事業費(f)=(d)+(e)		182万円	※収入合計(c)と同額

(添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること

2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「収入見込み」欄に計上すること